令和６年度　事業報告

1. 事　　業

この法人は、進路指導の普及発展に寄与することを目的として、令和６年度は定款第４条に掲げる下記の事業を行った。

(1)　進路指導・キャリア教育に関する調査研究

①　研究委託校の委嘱による調査研究

全国都道府県教育委員会・指定都市教育委員会等の推薦を受けて研究委託校を指定し、教育現場における進路指導諸問題の調査研究を推進した。

◆　令和６・７年度研究委託校

- 東京都町田市立小中一貫ゆくのき学園

（「進路指導・キャリア教育」９８巻－１号）

- 東京都練馬区立南が丘中学校

(2)　進路指導・キャリア教育に関する研修会・講演会、研究協議会等の開催

①　第７２回　進路指導・キャリア教育研究協議全国大会の開催

［別紙　資料１－１・２］

「進路指導・キャリア教育」９７巻－３号・９７巻－４号に掲載

○　参加人数　２８６名

②　キャリア教育研修講座（全６回実施）［別紙　資料２］

○　参加人数　６４名

(3)　令和６年度　協会賞・会長感謝状表彰の授賞者の選定について

- 令和６年７月３日（水）協会事務室にて協会賞選考委員会を開催した
  - 受賞団体は、機関誌「進路指導・キャリア教育」（９７巻－３号）に掲載。

    公益財団法人日本進路指導協会賞贈呈団体

    埼玉県高等学校進路指導研究会
- 令和６年７月３日（水）協会事務室にて会長感謝状贈呈者選考委員会を開催し、選考した。
  - 受賞者は、機関誌「進路指導・キャリア教育」（９７巻－３号）に掲載。

    公益財団法人　日本進路指導協会会長感謝状贈呈者

雑賀　文彦	前　大阪府立東住吉総合高等学校　校長
田中　泰博	前　佐賀県唐津市立佐志中学校　校長
永作　　稔	十文字学園女子大学教育人文学部　准教授
福永　宣彦	前　滋賀県野洲市立野洲北中学校　校長
三浦　清孝	前　京都市立岩倉北小学校　校長
山口　直人	愛知県立愛知総合工科高等学校　校長.

⑷　進路指導・キャリア教育に関する関係諸団体との連絡提携

①　進路指導・キャリア教育研究協議全国大会における連携

前記の全国大会の開催については、その計画・立案の段階から、全国小学校キャリア教育研究協議会(全小キャリア)、全国中学校進路指導・キャリア教育連絡協議会（以下全中進という)、全国高等学校進路指導協議会（以下全高進という)、ならびに日本キャリア教育学会（以下学会という）との密接な連携のもとに進めており、第８回全国小学校キャリア教育研究協議大会、第 46 回全国中学校進路指導・キャリア教育連絡協議大会、第 48 回全国高等学校進路指導研究協議大会を兼ねる形で実施した。

また、この事業は文部科学省の後援の他、次の諸団体の後援をいただいた。

東京都教育委員会　　全国都道府県教育長協議会　　全国連合小学校長会
全日本中学校長会　　全国高等学校長協会　　日本私立中学高等学校連合会

②　キャリア教育研修講座の実施についての連携

文部科学省の後援をいただいて実施、講師の派遣についても協力を得た。

全国小学校キャリア教育研究協議会、全国中学校進路指導・キャリア教育連絡協議会、全国高等学校進路指導協議会、日本キャリア教育学会から講師等の推薦をしていただいた。

③　機関誌「進路指導・キャリア教育」の編集についての連携

機関誌「進路指導・キャリア教育」は何よりも現場教師の指導に役立つものでなければならない。そのため小・中・高の進路学習の実践モデルを連載するなど、新企画の編集について全中進・全高進の積極的な協力を得て推進した。

④　日常活動における関係団体との連携

研究活動はもとより、必要な情報の交換・共有等のため独立行政法人労働政策研究・研修機構、(公財)産業雇用安定センター、全国商業高等学校長協会、(公社)全国工業高等学校長協会、全国農業高等学校長協会、(公財)産業教育振興中央会等多くの関係団体との連携を図った。

⑸　進路指導・キャリア教育に関する資料の収集及び展示

①　研究委託校の調査研究資料の収集・展示

研究委託校における研究成果は、２か年の委託期間が満了した折、報告書として提出される。その資料は一部を機関誌「進路指導・キャリア教育」で紹介し、他は整理・保管し、関係者の求めに応じて閲覧に供してきた。

②　研究協議会等における資料の収集・展示

全国大会あるいは地区進路指導・キャリア教育研究大会等に出席の折、進路指導・キャリア教育の資料収集や協会出版物の展示・頒布に努めてきた。

- 第３０回全国進学指導研究大会（北海道大会）

［北海商科大学２号館　令和６年９月19日㈭・９月20日㈮］

- 第３０回東北地区中学校進路指導研究大会　岩手大会

［盛岡市立大宮中学校・令和６年11月１日㈮］

- 第９回全国小学校キャリア教育研究協議会大館大会

［大館市内小中学校、ほくしか鹿鳴ホール・令和６年11月１日㈮・２日㈯］

- 第６１回全九州中学校進路指導・キャリア教育研究大会沖縄大会参加

［名護市立名護中学校・令和６年11月８日㈮］

- 第５１回関東地区高等学校進路指導研究協議大会　栃木大会

［ホテルニューイタヤ　令和６年11月15日㈮］

- 第６４回北海道キャリア教育・進路指導研究大会参加

［興部町立総合センター、興部町立興部中学校・令和６年12月６日㈮］

- 2023・2024年度　町田市教育委員会　研究指定校　研究発表会(研究委託校)

［町田市立小中一貫ゆくのき学園・令和７年２月17日㈪］

⑹　進路指導・キャリア教育に関する図書、資料、雑誌の出版及び推薦

①　機関誌「進路指導・キャリア教育」の出版・推薦

協会発足の昭和２年に機関誌「職業指導」として発刊を始め、昭和39年から「進路指導」と名を変えて出版・刊行してきた。平成20年から月刊を季刊に改めた。令和６年夏季号(97 巻 2 号)から誌名を「進路指導・キャリア教育」と改称し、継続し全国小・中・高・大等現場の教育者への購読を推奨してきた。

第97巻　第２号(夏号・令和６年６月１日)
第97巻　第３号(秋号・令和６年10月１日)
第97巻　第４号(冬号・令和６年12月１日)
第98巻　第１号(春号・令和７年３月１日)

発行部数はいずれも１，０００部

②　副読本「中学生活と進路」の推薦

「中学生活と進路」の採択・普及に努めた。

③　その他の書籍の出版・推薦・普及

文部科学省（旧文部省）の刊行物では「中学校・高等学校進路指導の手引（各編）」及び「中学校（高校学校）進路指導資料（第 2･3 分冊)」について、広く全国の進路指導関係者に頒布・推薦してきた。

すでに刊行している日本における進路指導の成立と展開、小学校キャリア教育実践講座（三村隆男著)、キャリア教育Ｑ＆Ａワーク（中学校編・鹿嶋研之助監修)、キャリア教育のエッセンス（吉田辰雄監修）の普及に努めた。

(7) 進路指導・キャリア教育に関する研究委託校の決定と指導・援助および助成

① 研究委託校の選定

公益財団法人　日本進路指導協会研究委託校規程に基づき、都道府県・政令指定都市の教育委員会に推薦を依頼して委託校を決定した。令和６・７年度研究委託校は、下表のとおりである。

- 東京都町田市立小中一貫ゆくのき学園(令和７年２月17日(月)研究発表会)
  「夢をもち たくましく しなやかに生きる 子どもの育成」
  ～自己の生き方を見つめ、協働しながら深めるキャリア教育の推進～
- 東京都練馬区立南が丘中学校

② 研究委託校への指導援助と助成

研究委託校の要請に基づいて、研修会、発表会・研究会等に指導のための講師を派遣し、その経費(30,000円)を補助している。

(8) 児童・生徒の進学・就職に関する進路選択等の指導・援助

年間を通して進路選択に関する本人あるいは保護者の相談は多い。電話による相談が大半であるが、時には来所相談もある。本人の在籍校で相談を深めることを基本として、それぞれの悩みに対応した指導援助にあたってきた。

- 江戸川区立春江中学校で２年生に進路講話を行った。
- 目黒区立第一中学校で２年生に進路講話を行った。

(9) 進路指導・キャリア教育に関する政府の諮問に応ずること。政府その他機関に対する意見の提出

文部科学省の施策に全面的に協力する立場から、常に教育現場に生ずる進路指導・キャリア教育上の問題を把握し、必要に応じて参考意見を述べ、調査研究に協力してきた。

(10) その他目的を達成するために必要な事業

小学校キャリア教育研究協議会、全国中学校進路指導・キャリア教育連絡協議会、全国高等学校進路指導協議会、日本キャリア教育学会、その他諸関係団体と協力し、進路指導・キャリア教育の普及発展に努めた。

資料　1

令和６年６月21日

各　都道府県教育委員会教育長　様
各　区市町村教育委員会教育長　様
各　学　　校　　長　様
各　関　　係　　者　様

公益財団法人日本進路指導協会
会長　田中　壮一郎

第７２回　進路指導・キャリア教育研究協議全国大会　開催について
第８回　全国小学校キャリア教育研究協議大会
第４６回　全国中学校進路指導・キャリア教育連絡協議大会
第４８回　全国高等学校進路指導研究協議大会

梅雨の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃から本会の活動につきまして、ご理解とご支援をいただき心から感謝申し上げます。

さて、文部科学省の講演のもと、標記の会を下記のように開催することになりました。小学校、中学校、高等学校と日本キャリア教育学会の共催で行われるものです。進路指導・キャリア教育に関心のある方々が一堂に会し、それぞれの立場から意見を交換する貴重な機会です

つきましては、趣旨をご理解の上ご参加くださいますよう、ご案内いたします。また、関係の職員についてもご派遣にご配慮をいただけますよう、お願い申し上げます。

記

1　主　　催　　公益財団法人日本進路指導協会
　　共　催　全国小学校キャリア教育研究協議会、全国中学校進路指導・キャリア教育連絡協議会、
　　全国高等学校進路指導協議会、日本キャリア教育学会

2　後　　援　　文部科学省、東京都教育委員会、全国都道府県教育長協議会、全国連合小学校長会、
　　全日本中学校長会、全国高等学校校長協会、日本私立中学高等学校連合会

3　日　　時　　令和６年７月25日(木)　～　26日(金)

4　会　　場　　国立オリンピック記念青少年総合センター
　　〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町３－１　　電話：03-3469-2525

5　主　　題　　「進路指導・キャリア教育の一層の充実を目指して」

6．日　程・時　程

◆　第１日　７月２５日(木)　［受付・開会式・記念講演　カルチャー棟　小ホール］

9:00	9:40	10:10	11:30	13:00	16:00
受付	開会式	記念講演	昼食・休憩	分科会・研究協議	

◎　記念講演　「これからの時代に求められる資質・能力を育むキャリア教育の可能性」
　　文部科学省　初等中等教育局　教育課程課 教科調査官
　　児童生徒課 生徒指導調査官
　　国立教育政策研究所　生徒指導・進路指導研究センター 総括研究官
　　生徒指導・進路指導研究センター キャリア教育総括調査官
　　教育課程研究センター 教育課程調査官
　　佐藤　学 先生

◆ 第2日　7月26日(金)

9:30	11:50	13:00	16:00
分科会・研究協議	昼食・休憩	全体研究協議会	

7．参加費　　無　料　（参加者には、必ず資料を購入していただくことになりますので、ご了承ください。
なお、資料代は3，０００円となります。当日、受付で納入してください。）

8．申込方法　　①　氏名　②　所属・職名　　③　希望分科会を明記し、はがき及びFAX、E-mail、
QRコードで、7月12日(金)までに申込みください。

9．申込先　　(公財) 日本進路指導協会　〒101-0054　東京都千代田区神田錦町1-8-1　親和ビル
TEL　03-5280-7013　　FAX　03-5280-7018　　E-mail　nihon-shinro@z-shinro.jp

10. 分科会・研究協議

◆ 第1日　7月25日(木)　１３：００～１６：００　分科会・研究協議［センター棟］

分科会	協議分野
第1(中学校)	「進路学習・キャリア教育の計画と実践」
第2(高等学校)	「進路学習・キャリア教育の計画と実践」
第3(中学校)	「中学校における進学･就職への指導・援助の在り方」
第4(高等学校)	「大学・短期大学・専修学校など進学への指導・援助の在り方」
第5(中学校)	「中学校におけるキャリア教育の在り方」
第6(高等学校)	「高等学校における就職などへの指導・援助の在り方」
第7(小学校)	「キャリア教育の計画と実践」

◆ 第2日　7月26日(金)　　９：３０～１１：５０　分科会・研究協議［センター棟］
１３：００～１６：００　全体研究協議会［センター棟］

		協議分野
午前	小学校・中学校	小学校・中学校における進路指導・キャリア教育の諸問題とその解決
	高等学校	高等学校における進路指導・キャリア教育の諸問題とその解決
午後	全体研究協議会	学校におけるキャリア教育の推進

※　変更が生じることがあります。ホームページでのご確認をお願いします。

公益財団法人日本進路指導協会　https://www.shinro-shido.com/

◆ 第１日目　７月２５日(木)　１３：００～１６：００　　センター棟　　資料　１－２

第１分科会：進路学習・キャリア教育の計画と実践　(中学校)	会場：405号
提案発表	「主体的・対話的で深い学びによる未来に向かってたくましく生きる児童生徒の育成 ～キャリア教育の４つの基礎的・汎用的能力の育成を通して～」 茨城県守谷市立御所野ヶ丘中学校　教諭　片岡　勇人 茨城県取手市立藤代南中学校　教諭　渡辺　一貴 「学級活動による進路学習を中心に据えたキャリア教育の実践」 東京都江戸川区立春江中学校　主任教諭　立入　僚之
司会	東京都大田区立大森第七中学校　校長　佐藤　圭一
指導助言	日本進路指導協会　理事・東京音楽大学　客員教授　関本　惠一
運営	東京都葛飾区立堀切中学校　東野　茂樹
記録	東京都東大和市立第四中学校　教諭　大田和　拓哉

第２分科会：進路学習・キャリア教育の計画と実践　(高等学校)	会場：401室
提案発表	事前事後学習を通した職業観の育成　～テキストマイニングツールを活用した取組～ 秋田県立由利工業高等学校　教諭　鈴木　鉄美 人とのご縁で進める“ツコウ”キャリア教育 ～T-PLANを軸とした取り組みのこれまでとこれから～ 島根県立津和野高等学校　教諭　堀尾　真吾
司会	東京都立松原高等学校　校長　石野　隆
指導助言	元全高進　会長・元東京女子体育大学　教授　野口　敏朗
運営	埼玉県立浦和商業高等学校　教諭　長谷川　恵美
記録	東京都立小台橋高等学校　主任教諭　多田　早穂子

第３分科会：中学校における就職・進学への指導・援助の在り方(中学校)	会場：403室
提案発表	「地域や仲間との「つながり」を深め、未来を創る生徒の育成 ～自分を振り返り、地域素材から学ぶ課題解決学習を通して～」 宮崎県宮崎市立広瀬中学校　教諭　大隈　直子 「伝える力を育む継続的な取組」 東京都 葛飾区立青戸中学校　主幹教諭　田中 幸司
司会	東京都大田区立中萩中小学校　校長　石川　貴美子
指導助言	早稲田大学大学院　教育学研究科　客員教授　岩永　章
運営	東京都葛飾区立水元中学校　特別支援教室支援員　今野　晋
記録	東京都大田区立大森第七中学校　主幹教諭　福岡　哲史

第４分科会：大学・短期大学・専修学校などへの指導・援助の在り方(高等学校)	会場：416室
提案発表	「本校の進路指導について」　～生徒や地域の実情に合わせた校内体制の構築～ 北海道滝川高等学校　教諭　藤宮　隆明 「専門高校から進学の道を切り拓くには」　～少数派の生徒でも見過ごさないために～ 石川県立小松工業高等学校　教諭　髙橋　孝治
司会	東京都立保谷高等学校　校長　平林　正男
指導助言	全国普通科高等学校長会　事務局長　佐藤　到
運営	東京都立東久留米総合高等学校　主幹教諭　小出　和代
記録	東京都立晴海総合高等学校　主幹教諭　桜井　伸一

第５分科会：中学校におけるキャリア教育の在り方	会場：409室
提案発表	「生徒の『夢』を大切に育てる３年間の指導実践」 東京都葛飾区立東金町中学校　主任教諭　松浦　猛 「ふるさとキャリア教育『おちいし塾』から地域創生学習の実践へ」 北海道根室市立おちいし義務教育学校　後期課程教頭　松本　秀雅
司会	東京都台東区立御徒町台東中学校　校長　福沢　俊之
指導助言	東京都教育庁指導部義務教育指導課　指導主事　安田　芳
運営	東京都大田区立大森第三中学校　副校長　五十嵐　弘毅
記録	東京都世田谷区立駒沢中学校　主任教諭　金塚　崇

第６分科会：高等学校における就職などへの指導・援助の在り方		会場：513室
提案発表	沼商における進路指導及び支援体制（主に就職希望者）について 静岡県立沼津商業高等学校　教諭　齋藤　貴裕 「県内企業へ持続的にIT人材を供給できる学校」を目指した就職指導・支援 大分県立情報科学高等学校　教諭　黒木　輝充	
司会	東京都立八王子拓真高等学校	統括校長　林　達也
指導助言	東京都教育庁指導部高等学校教育指導課	指導主事　坂田　匡史
運営	埼玉県立熊谷商業高等学校	教諭　町田　進一
記録	東京都立晴海総合高等学校	非常勤教員　浦部　ひとみ

第７分科会：キャリア教育の計画と実践　（小学校）		会場：402室
提案発表	秋田県大館市立釈迦内小学校　校長　佐藤　潔 地域とつながるキャリア形成をめざした小中一貫教育カリキュラムの推進 ～「３つの『つ』」で推進するキャリア教育～ 静岡県静岡市立田町小学校　校長　入口　強志	
司会	中野区立武蔵台小学校	副校長　山本　佳子
指導助言	東京都教育庁指導部義務教育指導課	指導主事　髙橋　光一
運営	荒川区立大門小学校	主幹教諭　柏崎　康徳
記録	世田谷区立代沢小学校	主幹教諭　横田　恒

◆　分科会・研究協議　第２日目　７月２６日(金)９：３０～１１：５０

小学校・中学校分科会：小学校・中学校における進路指導・キャリア教育の諸問題とその解決		会場：416室
提案発表	「一人一人の自己実現に向けて、個性の伸長と適正に応じた進路指導の充実をはかる。 ～生徒の進路保証を目指して～」 京都府京都市立東山泉小中学校　教諭　岡本　一義 「独自教科『おおたの未来づくり』の実践」 東京都大田区教育委員会事務局教育総務部指導課　指導主事　遠藤　健太 東京都大田区立志茂田小学校　教諭　戸塚　孝太郎	
司会	東京都大田区立大森第七中学校　校長　佐藤　圭一	
指導助言	上越教育大学　教授　山田　智之	
運営	東京都目黒区立目黒中央中学校　主任教諭　小峯　広光	
記録	東京都台東区立忍岡中学校　主任教諭　星野　こずえ	

高等学校分科会：高等学校における進路指導・キャリア教育の諸問題とその解決		会場：417室
講演	『多様性時代のリーダーシップ』～未来をひらく～ 株式会社 HiRAKU　代表取締役　ＣＥＯ講師　廣瀬　俊朗　様	
司会	東京都立松原高等学校	校長　石　野　隆
運営	埼玉県立三郷工業技術高等学校	教諭　江本 圭之介
記録	千葉県立千葉商業高等学校	教諭　竹田　大起

★　全体研究協議会　第２日目　７月２６日(金)　１３：００～１６：００

全体協議：「学校におけるキャリア教育の推進」		会場：417室
パネリスト	テーマ　「外部人材を活用したキャリア教育を考える」 大田区立北糀谷小学校 主幹教諭　平野　智裕 大田区立北糀谷小学校 主任教諭　石井　あゆ美 ＮＰＯ法人ＩＣＤＳ理事長　深谷　潤一　N ＰＯ法人ＩＣＤＳ職員／名古屋市立振甫中学校　キャリアナビゲーター　下出　万美子 株式会社RePlayce 代表取締役　山本将裕	
司会・ファシリテーター	法政大学　教授／日本キャリア教育学会関東地区部会代表　田澤 実	
運営	千葉県スクールカウンセラー	秋山奈美
記録	公益財団法人日本女性学習財団　見目友香	

資料－2

令和６年度　「キャリア教育研修講座」(全６回)のご案内

主　催　　公益財団法人日本進路指導協会

後　援　　文部科学省

この講座は、昭和２１年１０月　文部省、厚生省と職業指導協会(本協会の前身)が主催して開催された現職教員対象の職業指導講習会を起源としています。

その後、文部省(現　文部科学省)との共催または後援を受け、名称を変えながら今日に至っています。

今年度も、学校における進路指導・キャリア教育に関心のある方を対象に、実践、理論、キャリア教育にかかわる施策などを学ぶ研修会を開催することになりました。

この研修会はどなたでも参加していただけます。どうぞご参加ください。

１．目的

全国の学校で進路指導・キャリア教育の推進、充実を強く求められている現状を踏まえ、それを実践・展開する上での基礎となる、知識・技術を向上させること。

２．開催日　(時間　１３：３０～１６：３０)

第１回：　６月２日(日)　　第２回：７月７日(日)　　第３回：９月１日(日)　　第４回：１０月６日(日)

第５回：　１１月10日(日)　　第６回：　１２月１日(日)

1	６月２日(日)	「キャリア教育って何だろう」 「変化の激しい時代の進路指導・キャリア教育」 公益財団法人日本進路指導協会　理事・東京音楽大学　客員教授　関本　惠一
2	７月７日(日)	「企業も学校も共に成長するキャリア教育」 株式会社N.J.P　執行役員　キャリアマネージャー　塚田　薫
3	９月１日(日)	「中学校進路指導・キャリア教育の現状と課題」 全国中学校進路指導・キャリア教育連絡協議会　会長 大田区立大森第七中学校　校長　佐藤　圭一 「教育課題の解決に向けて」　公益財団法人日本進路指導協会　理事長 元文部科学省 審議官　田中　壮一郎
4	10月６日(日)	「探究学習を軸とした進路指導・キャリア教育」 神奈川県立相模原弥栄高等学校　総括教諭　小島　喜與徳 「各学校段階を通じた体系的・系統的なキャリア教育の推進」 文部科学省初等中等教育局　教育課程課 教科調査官 児童生徒課 生徒指導調査官 国立教育政策研究所　生徒指導・進路指導研究センター 総括研究官 生徒指導・進路指導研究センター キャリア教育総括調査官 教育課程研究センター 教育課程調査官 佐藤　学

5	11月10日(日)	「専門高校におけるキャリア教育の実践」 埼玉県立三郷工業技術高等学校　江本　圭之介 「発達障害児の働き方」～安心・安全と適度な刺激が大前提～ 学校法人武蔵野東学園　武蔵野東高等専修学校　進路指導部部長 ジョブコーディネーター・自閉症児進路アドバイザー　今城　慎一郎
6	12月1日(日)	「学級担任一人から始める小学校キャリア教育の実践」 世田谷区立代沢小学校　主幹教諭　横田　恒 「シブヤ未来科での小学校キャリア教育の実践」 渋谷区立長谷戸小学校　主幹教諭　水谷　光雄

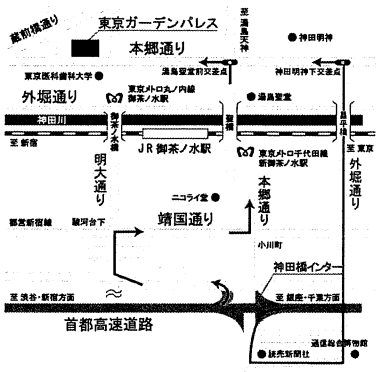
4．会場

◆ 東京ガーデンパレス　〒113-0034　東京都文京区湯島１－７－５

最寄り駅　　ＪＲ　中央線・総武線　「御茶ノ水駅」　徒歩５分

東京メトロ千代田線　「新御茶ノ水駅」　徒歩５分

東京メトロ丸の内線　「御茶ノ水駅」　徒歩５分



5．費用

資料代　：　①、②のどちらかを選択してください。

① 全６回分の資料を受け取る場合：２,０００円（受講回数は問いません）

② 受講した時の資料だけの場合、受講回数１回につき５００円

5．申込方法

・ メール、FAX、はがき、電話、QRコード　のいずれかでお申し込みください。

・ ［氏名］［〒、自宅住所、・電話］［所属・職名・電話番号］　をご連絡ください。

・ 欠席の場合、資料は所属先に送付します。

6．問合せ・申込先

公益財団法人　日本進路指導協会

【住所】〒101-0054　東京都千代田区神田錦町１－８－１　親和ビル２階

TEL：03-5280-7013　　FAX：03-5280-7018　　E-mail：nihon-shinro@z-shinro.jp